

第 161 回多摩美術大学校友会理事会 議事録

日時：2022 年 1 月 22 日（土）15：00～17：00

方法：オンライン（「Zoom」使用）

出席（19名）：古結 信良、岡田 真智子、丸山 浩司、中村 一哉、森長 俊六、岸本 章、小林 清志、今泉 善雄、
宇野 務、菊地 武彦、阿原 乃里子、税田 和利、吉成 知子、相馬 千賀、小泉 雅子、松村 誠一、
深津 裕子、飯田 紀子、吉田 圭

委任（8名）：庄山 晃、碓井 義忠、古谷 博子、奥野 美果、米山 貴久、福嶋 由歩、木内 俊維、木村 剛士

欠席（3名）：植村 博、八木 幾朗、大久保 敏之
事務局員 柏木 理恵、青柳 絵美

1. 議長選出

議長：岡田副会長

2. 報告

1. 財務 | 月次報告（10月/11月） ……深津事務局長

- ・10月、11月も問題なく処理されている
- ・11月は会報発送による効果があり、会費収入が増えた

2. 広報 | 2022年度計画案 ……小林委員長

- ・2022年度以降は会報を休刊にする。そのため、会報の制作・発送の予算は計上しない
- ・会報に掲載していた内容は校友会HPでご案内する。休刊の告知はHPと定期総会案内で行う。また、デジタル移行について定期総会案内でアンケートを行う
- ・会報休刊後の広報委員活動の見直しを行う
→時代の変化の中でものの在り方が変わっている。変えるならこのタイミングだと思う（中村会長）

3. チャリティ展 | ……菊地委員長

(1) 「チャリティビエンナーレ 2021」開催報告

期 間：2021年11月28日（日）～12月5日（日） / 8日間

会 場：光村グラフィック・ギャラリー

イベント：アルミホイルを使ったリトグラフ

オンライン販売：2021年12月15日（水）～12月22日（水） / 7日間

【来場者数】 258名 / 【売上金】 1,109,210円

【個展バックアップ賞受賞者】

石田 満理佳（'18 演舞）、遠藤 小夜（'10 造形）、大淵 花波（'21 院油）、

鷹木 彩乃（'21 油画）、松尾 宗慶（'89 芸術）、江上 夏希（在学 院油1年）

【売上金内訳】 画料：554,605円 / 奨学金基金：277,303円 / GBFund：227,302円

- ・来場者数はコロナの影響もあり減少したが、売上は増加した
- ・会場にいた子供たちもイベントに参加し盛況であった
- ・学部3年生以上の在学学生に出品していただき、個展バックアップ賞にもご参加いただいた

【アンケート結果】

- ・アンケートのご協力が少なかった
- ・東京近郊にお住まいの幅広い年代の方にお越しいただいた
- ・作品の価格設定が高いというご意見をいただいた。今後はチャリティの趣旨をご理解いただき、求めやすい価格設定について募集時に告知する
→歴史ある光村印刷株式会社のギャラリーで開催できてよかった（松村理事）

(2) 2022 年度計画案

2023 年度の開催に向けて準備を進める

4. 出前アート | ……飯田委員長

(1) 進捗状況

理事会前に担当者会議を開催した。2022 年度に実施するオンライン授業を考えている。

(2) 2022 年度計画案

小学校の授業でも取り組む「くぎちゃん」の制作を通して全国の小学生とオンラインでつながる授業を計画している。低学年には写真、高学年にはアニメーションを投稿していただき、専用サイトで発表・鑑賞する。現在、講師のリサーチをしている。募集要項・専用サイトの制作、動画投稿等でお手伝いいただける卒業生をご紹介いただきたい

5. 奨学金委員会 | ……岸本委員長

(1) 進捗状況

【多摩美術大学校友会 奨学生成果報告冊子の配布】

昨年同様、各奨学生の成果報告をまとめた冊子を作成・配布し、冊子データを校友会 HP で公開する
期 間：2022 年 3 月 13 日（日）～15 日（火）八王子キャンパス学内 B 日程
配布先：奨学生、各研究室（ラック等）、関係各所
懇親会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とする

(2) 2022 年度計画案

2021 年度と同規模の事業・予算を考えている

6. グループ助成 | ……阿原委員長

(1) 進捗状況

PRESS 展を開催していた小杉画廊より、グループ助成の取り組みをお褒めいただいた

(2) 2022 年度計画案

2022 年度は 2021 年度に準じた活動を予定している。2021 年度は応募が少なく、一人当たりの増額も検討したが、コロナ後を考え予算は据え置きとする

7. 四美大 | ……岡田副会長

(1) 第 6 回・第 7 回 四美大実行委員会 報告

・第 6 回では 11 月に行った勉強会の感想とご意見を各会より報告した。また、今後の取り組みにつ

- いて検討し、「美術を楽しむ日」を広めていく活動を中心に勉強会も行うこととなった
- ・第7回では、多摩美より親睦交歓会の代わりに勉強会（多摩美主催）の開催を提案した。年4回、春は多摩美、夏は武蔵美、秋（「美術を楽しむ日」）は造形大、冬は女子美が主催する勉強会を行うこととなった

(2) 2022年度計画案

- ・2022年度の幹事校は東京造形大学が担当する
- ・多摩美主催の勉強会は6月下旬に開催する。対象は4美大の大学教職員と校友会理事の希望者、定員300名程度とする。テーマは「最近の美術大学の動向について」を計画している。予算は勉強会開催のため企画運営費を10万円計上している。その他は2021年度と同様とする
 - コロナ禍で懇親会は開催できない。懇親会費10万円は必要ないと思う（深津事務局長）
 - 委員会で検討する（岡田副会長）

8. オリジナルプロダクト | ……税田委員長

(1) 進捗状況

卒業生の作品を募集してオリジナルのボールペンとクリアファイルを商品化する。クリアファイルは表に校友会のロゴを印刷し、裏に卒業生の作品をレイアウトして2種類のデザインとする。商品化にご理解いただき作品を応募していただく

(2) 2022年度計画案

ボールペンとクリアファイルを商品化する計画で予算を作成した。販売金額も設定し、販売のための人件費も計上している。イベント時（卒業制作展、入学式等）に販売することを想定している

- オレンジのロゴだけでは校友会のグッズと認識してもらえないのではないか（小林理事）
- 校友会の名称を入れるか検討する（税田理事）
- 目的を明確にしたほうが良い。目的はなんですか（吉田理事）
- 校友会の資金にすることを目的とする。計画では40万円の利益となる。税金も支払う（税田理事）
- 中長期的な計画が必要だと思う。認知や活動促進に繋がる方が効果的であり価値がある（吉田理事）
- 全国の卒業生との関わり、支部との繋がりを考え、卒業生の作品を使うこととした（税田理事）
- グッズを支部のイベントで販売した場合はその収益を支部に還元できると良い（吉田理事）
- 販売の際に使用するロゴ入りの袋が必要だと思う。作成費を予算化した方が良い（阿原理事）
- 袋は有料化して販売しても良いと思う（税田理事）
- クリアファイルとスケッチブックは卒業・入学時の記念品として既に事務局でも作成している。今後は広報とも連携をとり活用を考えたい（深津事務局長）

9. 正会員 |

(1) 正会員カード配布 進捗状況 ……森長委員長

2022年度から定期総会の案内にカードをにつけて配布する。カードは1年間有効とする。特典先情報はQRコードで対応する。現在、デザインと業者を選定している。宛名部分がそのままカード

の裏面となる

(2) 2022 年度計画案 ……森長委員長

2022 年度計画案は新正会員カードの業者が決まり次第作成する

(3) 名誉会員・特別会員の特典利用 報告 ……深津事務局長

- ・ 1 月上旬に該当の教職員 174 名に配布した。会員番号は付与せず、「特別会員」と記載した
- ・ 今後は年に 1 回、5 月に在職状況を確認し発行する

10. 支部・会員 | ……宇野委員長

(1) 支部活動 報告

- ・ 2022 年 6 月に千葉支部が 25 周年の展覧会を開催する
- ・ 今後、支部のチラシなど広報物には校友会の後援を入れる
- ・ 3 月 5 日 (土) 午前 11 時から 2021 年度 2 回目の支部長懇談会をオンラインで開催する

(2) 2022 年度計画案

2022 年度は支部長懇談会をオンラインで年 2 回開催する。2021 年度同様の計画案を作成した

- 支部長懇談会に参加するだけではなく、理事会でそれぞれの支部の実情を把握した人が発言することが大切である。ハンドブックに支部長理事と記載されている。支部長理事の後任を推薦したいが、理事の選出基数に則ると推薦できる支部長がいない (油画出身の支部長が多い)。会則の改定 (と支部長枠 2 名の設置 (今後検討していく)) を提案する (森長理事: 支部の担当理事 4 名の提案)
- 支部の活性化は重要だが、会則の改正は慎重に考える。まず、支部全体のご意見をオンライン支部長懇談会 (年 2 回) 等でまとめていただきたい。また、支部長枠ではなく支部枠として条件に合う方をご推薦いただく方法もある。すぐに理事改選 (会則改正) につなげるのではなく、もっと検討の必要があるのではないか。(中村会長)
- 支部は、活性化というレベルではなく、高齢化もあり存続できるかどうかの状況である。ゆっくり議論するのではなく早く解決すべきである (税田理事)
- 高齢化は支部だけではなく校友会全体の問題である。若い方にどのように繋げていくかは今後の校友会の在り方に関わる問題である。支部長理事がいたら解決するという問題ではない (中村会長)
- 退任理事の後任の補充は順調でしょうか。決まっているでしょうか (税田理事)
- 決まっていないが、必ずしも退任した人数の補充が必要なわけではない。推薦がなければ今の人数で進めていく。努力が必要な状況ではあるが、会則の改正は慎重に考えるべき (中村会長)
- 会則は時代に合わせ必要に応じ柔軟にする必要がある。支部の声が聞ける理事が 2 人は必要だと思う。油画の基数の部分に「ただし支部長の場合はその限りではない」と追加してほしい。支部長枠 2 名の設置は現時点の提案ではない (森長理事)
- 支部の方がいることは望ましいが、支部長に限定する必要があるか検討する余地がある。3 月の支部長懇談会で呼びかけをする (中村会長)
- 他の理事の皆様のご意見を伺いたい (森長理事)
- 油画の基数 5 名の必要性は何か。油画に偏る弊害はあるのか (阿原理事)

- 校友会の歴史の中で基数が定められ、それを継承してきた。学科によって人数の差がある中、マイノリティの尊重とパワーバランスを調整する役割があると理解している（深津事務局長）
- 学科同士での競い合いがあるとは思わない。卒業生で熱意のある方を優先したい（阿原理事）
- 油画の出身は既に5名より多い。これが現状である（森長理事）
- 校友会は卒業生のためにある。学科は関係ないと思うが、この議論はZoomではなく、議事録にまとめ、対面でしっかり時間をかけて議論した方が良い（丸山理事）
- 校友会の在り方に関わることで、時間をかけて2022年度以降協議していく。学科の基数（理事）と支部の問題は分けて検討した方がよい（中村会長）
- 理事の意見をメールで集め、次回理事会で検討するのはどうか（吉田理事）
- 理事・支部・校友会全体についての意見だと煩雑になるので、的を絞ってほしい。理事の選出基数の撤廃に関するアンケートはどうか（森長理事）
- 理事選出にかかわる問題として今後検討していく。今後の校友会の在り方などについて、皆様からご意見をいただき、校友会全体の検討事項の1つとして考えていく（中村会長）

11. 学生・幹事 | 2022年度計画案 ……深津事務局長

2022年度計画は例年に準ずる。学内幹事会は年に2回オンラインで開催する。オンラインのため会議費、交通費はとらない

12. 執行部 |

(1) 2022年度事業計画案 ……中村会長

今回の理事会は次年度に向けた歩みだしとなる。2021年はウィズコロナを見据えて進んだ年度だった。チャリティイベントの在校生参加と併催イベントへの子供たちの参加、ガーデン同窓会・支部長懇談会のオンライン開催、正会員カードの紙カード（1年有効）への変更、個人情報の取り扱いについて時代に合わせた見直しなど、地道な成果がでていく。今後、広報活動の在り方も見直しを行い、2022年4月には就業規則の改定を行う。ご意見は様々あるが、変えるなら今しかない。校友会の意義や卒業生へのサービスについて再考していただき、3月は具体的な事業計画を報告してほしい。組織の成熟を目指して、人が変わっても動ける組織づくりを目指したい。3月末に期間満了で事務局員1名が退職する。財政状況を考慮し、4月以降は正規職員1名と臨時職員で運営する。必要な時は、今以上にスタッフを増員することができる。当面は事務局運営の変化もご理解いただき事業展開を考えてほしい

(2) 2022年度理事改選案 ……中村会長

教務部の摩庭啓人氏（'15芸術）を理事に推薦する→議事「1.2022年度理事改選」へ

(3) 2022年度理事役割分担案 ……中村会長

理事改選に伴う配置換えを行う。希望がある場合は事務局まで連絡する

(4) 2022年度定期総会・ガーデン同窓会・支部長懇談会の開催方法 ……中村会長

定期総会と支部長懇談会（年2回）はオンラインで行う。ガーデン同窓会は未定

(5) 2021 年度学位授与式式辞／2022 年度入学式祝辞 ……深津事務局長

- ・学位授与式式辞は中村会長が、入学式祝辞は高山羽根子氏（'01 日画）が行う
- ・TAU ホールで 2 部構成の対面型式（学部・大学院合同）で開催予定
- ・映像は YouTube によるリアルタイム配信とアーカイブによる公開を予定

(6) 予備費の使用 ……深津事務局長

- ・チャリティイベントの売上が計画を上回り、寄付金の金額が予算額を超過するため予備費を 27,302 円使用する
- ・2021 年度学位授与式で新正会員にご記入いただく進路連絡先登録カードの見直しを行う。東京都行政書士会八王子支部にご紹介いただいた行政書士の池田智氏に委託する費用 40,000 円を予備費から使用する→[議事「2.予備費の使用」](#)へ

3. 議事

1. 2022 年度理事改選 承認 ……中村会長

教務部の摩庭啓人氏（'15 芸術）を理事とする

→◎挙手多数により承認

2. 予備費の使用 承認 ……中村会長

寄付金超過分、進路連絡先登録カードの見直しに伴う費用に予備費を使用する

→◎挙手多数により承認

【次回】第 162 回理事会

日時：2021 年 3 月 12 日（土）15:00～17:00（予定）

議事録作成：柏木理恵

以上、議事録の記載内容を確認の上、署名します

署名： 中村 一哉

署名： 深津裕子